鹿角高等学校魅力化推進事業
進路に関する保護者アンケート
結果報告書

令和８年９月

鹿角市教育委員会

目次

第 1 章 調査の概要 1
1-1. 調査の目的 1
1-2. 調査対象 1
1-3. 調査期間・調査方法 1
1-4. 回答状況 1
1-5. 集計・分析上の留意点 1
1-6. 各設問の分母（n） 1
第 2 章 回答者属性 2
2-1. 子どもの所属中学校 2
2-2. 子どもの学年 2
第 3 章 中学生の進路に関する保護者の意向 3
3-1. 中学卒業後の進路希望 3
第 4 章 高校選択に関する保護者の意向 4
4-1. 高校選びにおいて重視すること 4
4-2. 進学を想定している高校の所在地域 5
4-3. その地域の高校への進学を想定している理由 6
4-4. 想定地域別の想定理由 8
第 5 章 鹿角高校に対する認識 10
5-1. 鹿角高校に対する認識 10
第 6 章 自由記述の分析 12
6-1. 自由記述の分類方法 12
6-2. 自由記述の分類と意見の件数 12
6-3. 自由記述から見える主な課題 12
第 7 章 調査結果から見える鹿角高等学校魅力化に向けた今後の検討課題 14
7-1. 進学支援の取組の可視化 14
7-2. 学びの特色の共有 14
7-3. 学校生活の安心感の共有 15
7-4. 通学環境の安全確保と利便性の向上 15
7-5. 保護者への情報発信の充実 15
第 8 章 本調査のまとめ 17
8-1. 調査結果の要点 17
8-2. 保護者の意向と課題 17
8-3. 今後の方向性 17
資料 18

設問一覧 18
自由記述意見(設問 8 の回答･表現等整理後) 一覧 20

第１章 調査の概要

1-1. 調査の目的

本調査は、鹿角市内の中学生の保護者を対象に、高校選択において重視する事項、進学先に関する意向、鹿角高校に対する認識等を把握し、今後の鹿角高校魅力化ビジョン策定及びワークショップ等における議論の基礎資料とすることを目的として実施しました。

1-2. 調査対象

市立中学校に在籍する子どもの保護者

1-3. 調査期間・調査方法

調査期間：令和８年５月22日(金)から６月15日(月)

調査方法：無記名によるオンラインフォーム、または紙の調査票への回答

周知方法：中学校と保護者の連絡アプリを通じて周知

連絡アプリを利用していない世帯については中学校を通じて紙の調査票を配布

1-4. 回答状況

回答率：41.0%

（回答数＝217件/市立中学校に在籍する子どもがいる世帯数＝529世帯）

1-5. 集計・分析上の留意点

本調査の回答率は 41.0%であり、中学生の子どもがいる保護者の意向や課題を把握する基礎資料として活用可能な回答数が得られたと考えられます。

ただし、未回答世帯が一定数あるため、結果は回答世帯の傾向として捉える必要があります。なお、各設問の割合は、当該設問の有効回答数を分母として算出しました。

また、本調査は１対象世帯あたり１回答とし、兄弟姉妹が市内中学校に複数在籍する場合は上の子どもについて回答する設計であるため、学年別集計は上の子ども基準の回答分布であり、各学年に在籍するすべての生徒の保護者意向を厳密に示すものではありません。

1-6. 各設問の分母(n)

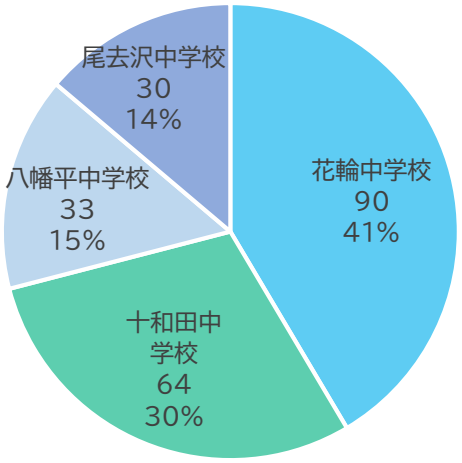
設問１～３	n＝217(全回答者)
設問４	n＝213(設問３で「高校等への進学」と回答した保護者)
設問５	n＝212(設問３で「高校等への進学」と回答した保護者、未回答を除く)
設問６	n＝185(設問３で「高校等への進学」と回答した213人の保護者のうち、設問５の未回答１人及び「まだわからない」と回答した27人を除く)
設問７	n＝217(全回答者)※各項目の未回答者数により増減
設問８	回答対象者n=217のうち、回答者n=31(うち１件非掲載)

第 2 章 回答者属性

2-1. 子どもの所属中学校

（n=217）

中学校名	回答数	構成比
花輪中学校	90	41.5%
十和田中学校	64	29.5%
八幡平中学校	33	15.2%
尾去沢中学校	30	13.8%
総計	217	100.0%



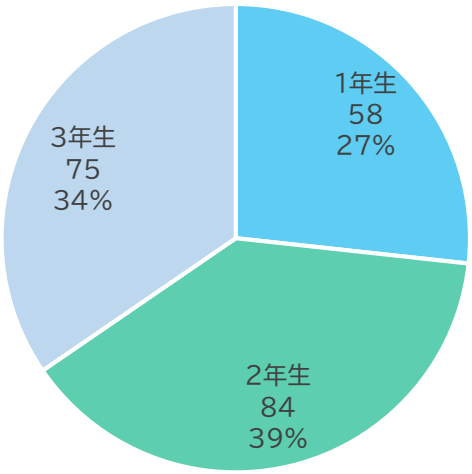
回答者である保護者の子どもの所属中学校は、花輪中学校が 90 件、41.5%と最も多く、次いで十和田中学校が 64 件、29.5%となっています。

八幡平中学校、尾去沢中学校を含め、市内 4 中学校すべてから回答が得られています。

2-2. 子どもの学年

（n=217）

学年	回答数	構成比
1 年生	58	26.7%
2 年生	84	38.7%
3 年生	75	34.6%
総計	217	100.0%



学年別では、2 年生が 84 件、38.7%と最も多く、次いで 3 年生が 75 件、34.6%、1 年生が 58 件、26.7%となっています。各学年から一定数の回答が得られており、学年別の傾向を確認する基礎資料として活用できます。

ただし、本調査は 1 対象世帯あたり 1 回答とし、兄弟姉妹が市内中学校に複数在籍する場合は上の子どもについて回答する設計であるため、学年別集計は上の子ども基準の回答分布であり、各学年に在籍するすべての生徒の保護者意向を厳密に示すものではありません。

第 3 章 中学生の進路に関する保護者の意向

3-1. 中学卒業後の進路希望

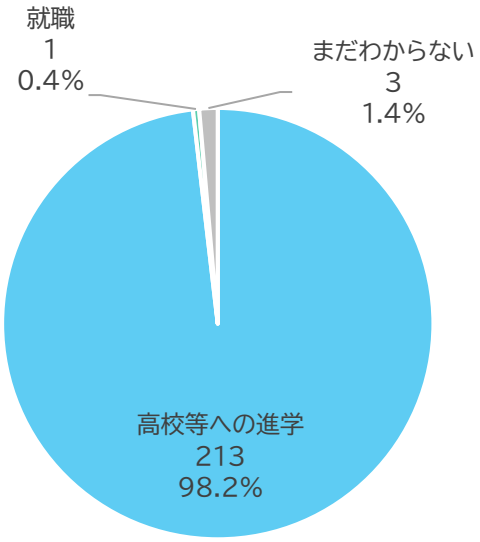
設問 3

「あなたは、お子様に中学卒業後どのような進路へ進んでほしいと考えていますか」

（n=217）

選択肢	回答数	構成比
高校等への進学	213	98.2%
就職	1	0.4%
まだわからない	3	1.4%
総計	217	100.0%

※構成比は、合計が 100.0%となるよう端数調整しています。



・ほとんどの保護者が「高校等への進学」を希望

中学卒業後の進路希望について、「就職」や「まだわからない」という回答もありましたが、回答者全体の 98.2%である、213 人の保護者が「高校等への進学」と回答しました。

この結果を踏まえ、次章では、高校等への進学を希望する保護者を対象に、高校選びで重視することや進学を想定している地域、その理由について分析します。

第 4 章　高校選択に関する保護者の意向

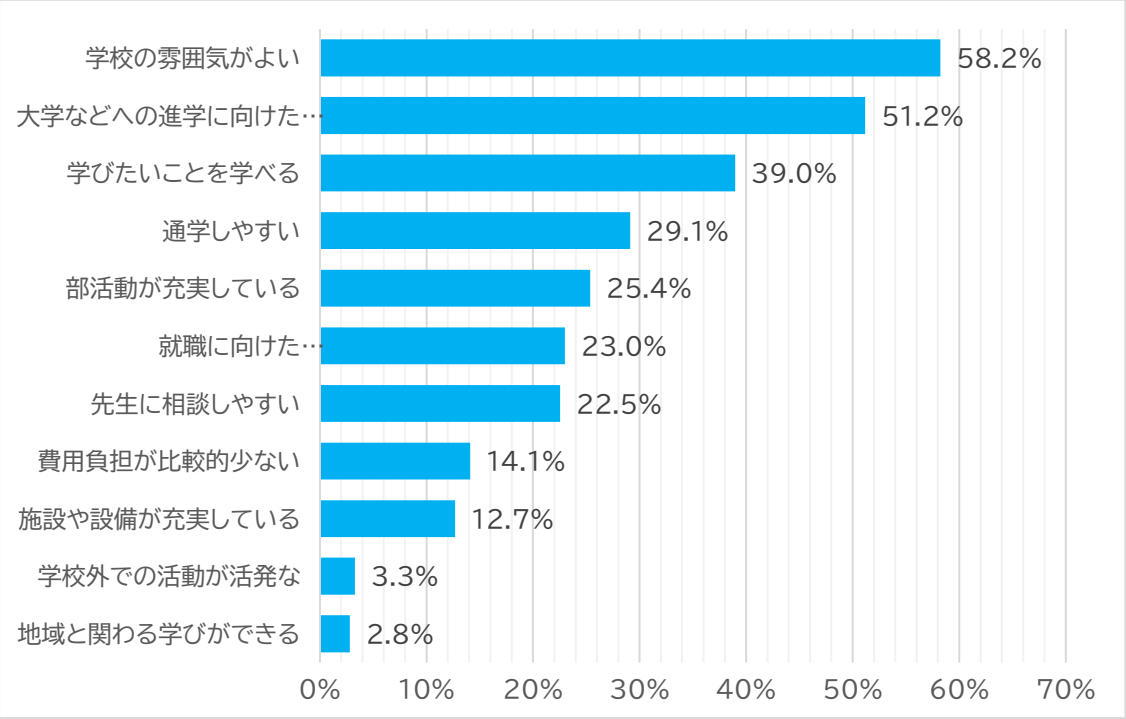
4-1. 高校選びにおいて重視すること

設問 4

「あなたは、お子様にどのような高校に進学してほしいと思いますか。最大 3 つまで選んでください」

（n＝213）

選択肢	回答数	選択率
学校の雰囲気がよい	124	58.2%
大学などへの進学に向けた学習や指導が充実している	109	51.2%
学びたいことを学べる	83	39.0%
通学しやすい	62	29.1%
部活動が充実している	54	25.4%
就職に向けた学習や指導が充実している	49	23.0%
先生に相談しやすい	48	22.5%
費用負担が比較的少ない	30	14.1%
施設や設備が充実している	27	12.7%
学校外での活動が活発な	7	3.3%
地域と関わる学びができる	6	2.8%



※設問3で「高校等への進学」と回答した 213 人が対象

※複数回答制であるため、選択率の合計は 100%を超える

・「学校の雰囲気」を重視する回答が最も多い

高校選択で重視することについては、「学校の雰囲気がよい」が 124 人（58.2%）で最も多く、次いで「大学などへの進学に向けた学習や指導が充実している」が 109 人（51.2%）、「学びたいことを学べる」が 83 人（39.0%）で上位回答となりました。

回答した保護者は、高校選択にあたり、進学に向けた学習や指導だけでなく、良好な学校の雰囲気や、本人の興味・関心に合った学びを重視していることがうかがえます。

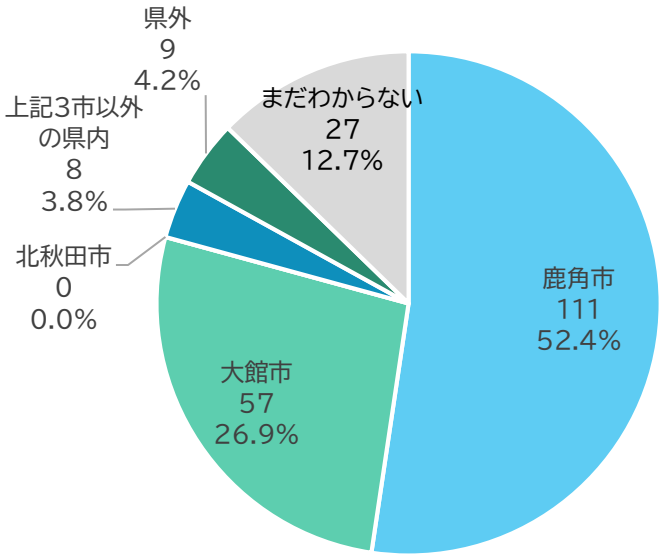
4-2. 進学を想定している高校の所在地域

設問 5

「あなたは、お子様の進学先として、現時点でどの地域の高校を想定していますか。（現時点で第一志望として考えている高校等がある場所を1つだけ選んでください）」

（n＝212）

選択肢	回答数	構成比
鹿角市	111	52.4%
大館市	57	26.9%
北秋田市	0	0.0%
上記 3 市以外の県内	8	3.8%
県外	9	4.2%
まだわからない	27	12.7%
総計	**212**	**100.0%**



※設問 3 で「高校等への進学」と回答した 213 人のうち、未回答 1 人を除く 212 人が対象

・鹿角市を進学先として想定する回答が最も多いが、大館市も一定数みられる

設問 5 では、子どもの進学先として、調査時点（令和 8 年 6 月）でどの地域の高校を想定しているかをたずねました。

その結果、「鹿角市」が 111 人（52.4%）と約半数を占め、最も高くなりました。次いで、「大館市」が 57 人（26.9%）となっており、地元の高校を想定する保護者が最も多い一方で、大館市の高校を想定する保護者も一定数いることが分かります。

また、「上記 3 市以外の県内」が 8 人（3.8%）、「県外」が 9 人（4.2%）となっており、鹿角市・大館市以外の地域を想定している回答も少数ながらみられました。

・進学想定地域が未定の層も約１割

一方、「まだわからない」と回答した未定層は 27 人（12.7%）で、全体の約 1 割となっています。

・学年別にみるとどの学年も鹿角市が多いが、3 年生で大館市が比較的高い

選択肢	１年生（n=55）	２年生（n=83）	３年生（n=74）
鹿角市	47.3%	59.0%	48.6%
大館市	25.5%	22.9%	32.4%
北秋田市	0.0%	0.0%	0.0%
上記3市以外の県内	5.5%	2.4%	4.1%
県外	1.8%	6.0%	4.1%
まだわからない	20.0%	9.6%	10.8%

設問5を子どもの学年別にみると、いずれの学年でも「鹿角市」が最も高く、保護者の進学想定地域として地元志向が基本にあることがうかがえます。

一方、「大館市」は 1 年生 25.5%、2 年生 22.9%、3 年生 32.4%で、3 年生が比較的高い結果でした。また、「まだわからない」は 1 年生 20.0%に対し、2 年生 9.6%、3 年生 10.8%で、1 年生が比較的高くなっています。

このことから、進学先として鹿角市を想定する割合が各学年で最も高い一方、3 年生では大館市、1 年生では未定とする割合が比較的高いなど、学年間の違いがみられました。なお、本調査は同一の保護者を継続して調査したものではないため、学年進行に伴う変化ではなく、調査時点における学年間の差として捉える必要があります。

なお、「まだわからない」は 1 年生で 20.0%と比較的高いものの、2年生と 3 年生の保護者でも約 1 割が未定であり、進学先について迷っている保護者が一定数存在していることが分かります。

4-3. その地域の高校への進学を想定している理由

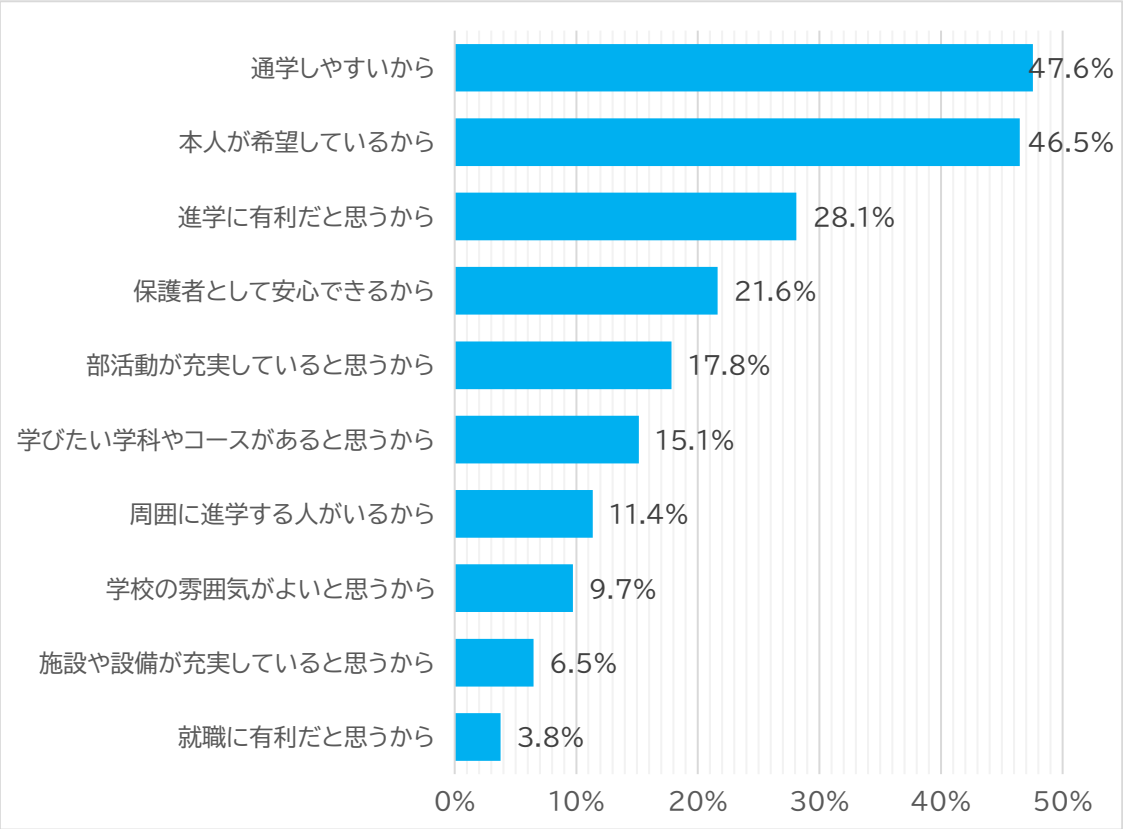
設問 6

「その地域の高校を想定している理由を教えてください。現時点での考えに近いものを最大 3 つまで選んでください」

（n＝185）

選択肢	回答数	選択率
通学しやすいから	88	47.6%
本人が希望しているから	86	46.5%
進学に有利だと思うから	52	28.1%

保護者として安心できるから	40	21.6%
部活動が充実していると思うから	33	17.8%
学びたい学科やコースがあると思うから	28	15.1%
周囲に進学する人がいるから	21	11.4%
学校の雰囲気がよいと思うから	18	9.7%
施設や設備が充実していると思うから	12	6.5%
就職に有利だと思うから	7	3.8%



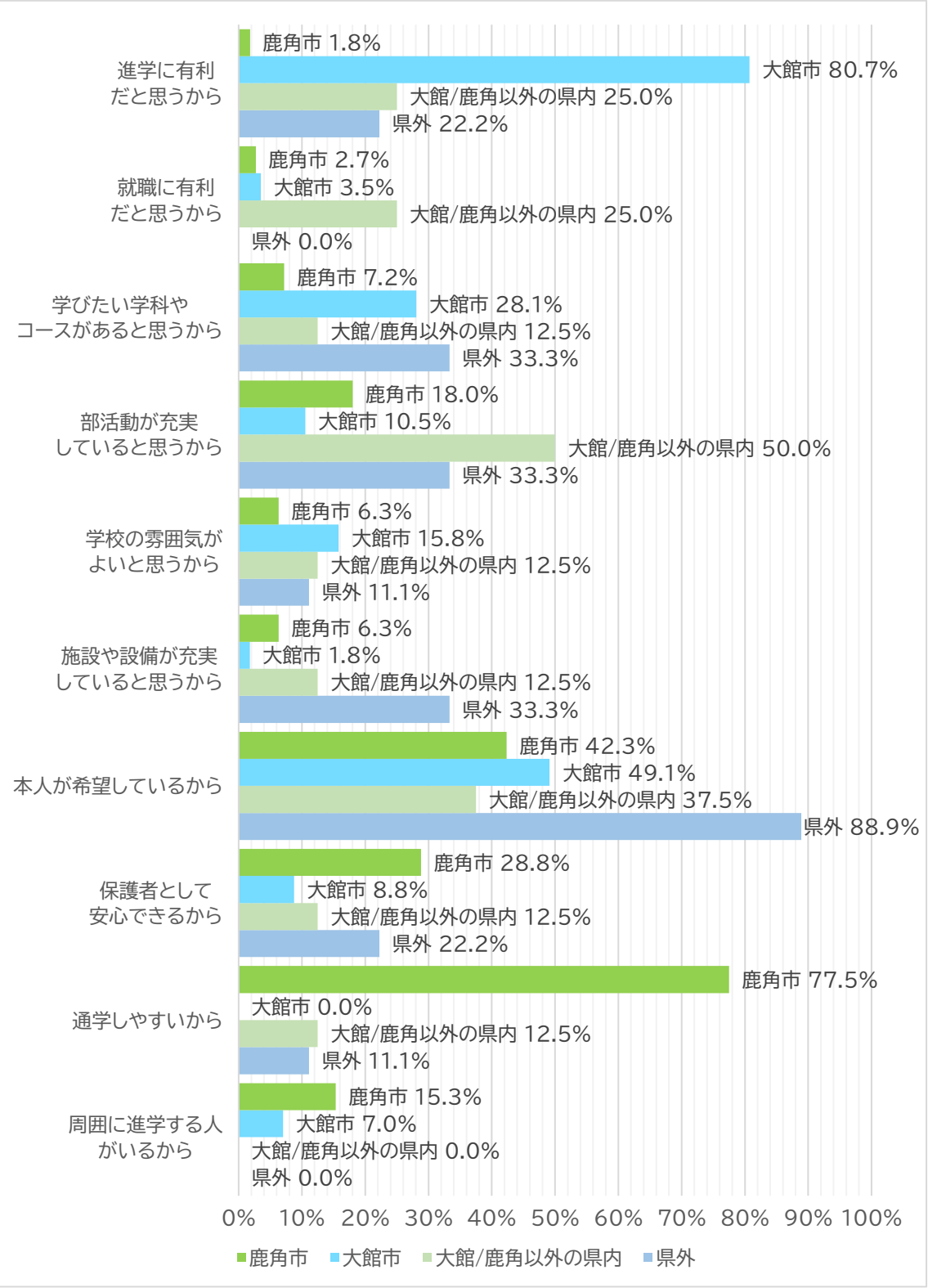
※設問３で「高校等への進学」と回答した 213 人の保護者のうち、設問５の未回答１人及び「まだわからない」と回答した 27 人を除く 185 人が対象

・想定理由は「通学しやすさ」や「本人の希望」が上位だが、想定地域別にみる必要あり

全体では、「通学しやすいから」が 88 人（47.6%）、「本人が希望しているから」が 86 人（46.5%）、「進学に有利だと思うから」が 52 人（28.1%）で上位となりました。

ただし、本設問は進学先として想定している高校の所在地域によって理由の意味が異なり、また、鹿角市を想定する回答者が過半数を占めるため、次に各想定地域別に分けて比較します。

4-4. 想定地域別の想定理由



※「北秋田市」と回答した保護者がいなかったため、便宜上、選択肢の「上記 3 市以外の県内」をこのグラフでは「大館/鹿角以外の県内」と表記しています。

進学先として想定している地域ごとに理由を比較すると、地域によって違いがみられます。

なお、それぞれの回答者数については「鹿角市」が 111 人、「大館市」が 57 人であるのに対し、「上記 3 市以外の県内」は 8 人、「県外」は 9 人と少ないため、後者 2 区分については参考的な傾向としてみる必要があります。また、「北秋田市」と回答した保護者がいなかったため、「北秋田市」は除いています。

・想定する地域によって重視する理由に違いがみられる

(1)鹿角市を想定している保護者

鹿角市を想定している保護者では、「通学しやすいから」が 77.5%と最も高く、次いで「本人が希望しているから」が 42.3%、「保護者として安心できるから」が 28.8%となっています。

このことから、鹿角市を想定している保護者は、通学負担の少なさや本人の希望、保護者の安心感が大きな判断材料となっていることがうかがえます。

(2)大館市を想定している保護者

大館市を想定している保護者では、「進学に有利だと思うから」が 80.7%と突出して高く、次いで「本人が希望しているから」が 49.1%、「学びたい学科やコースがあると思うから」が 28.1%となっています。

このことから、大館市内の高校等への進学を想定している保護者では、進学面での期待や本人の希望、学びの内容が重要な判断材料となっていることがうかがえます。

(3)上記 3 市以外の県内または県外を想定している保護者

「上記 3 市以外の県内」では、「部活動が充実していると思うから」が 50.0%と最も高く、「進学に有利だと思うから」「就職に有利だと思うから」がともに 25.0%となっています。

また、「県外」では、「本人が希望しているから」が 88.9%と特に高く、「学びたい学科やコースがあると思うから」及び「部活動が充実していると思うから」「施設や設備が充実していると思うから」がそれぞれ 33.3%となっています。

これらの結果から、県内他地域や県外への進学を想定する保護者では、通学のしやすさよりも、部活動、学びたい分野、施設設備など、特定の目的や本人の希望を重視する傾向がみられます。

ただし、これらの区分は回答者数が少なく、参考的な傾向として捉える必要があります。

・「本人が希望しているから」は各地域で一定割合が選択

「本人が希望しているから」は、鹿角市で 42.3%、大館市で 49.1%、上記 3 市以外の県内で 37.5%、県外で 88.9%となっており、いずれの地域でも一定の割合を占めていました。

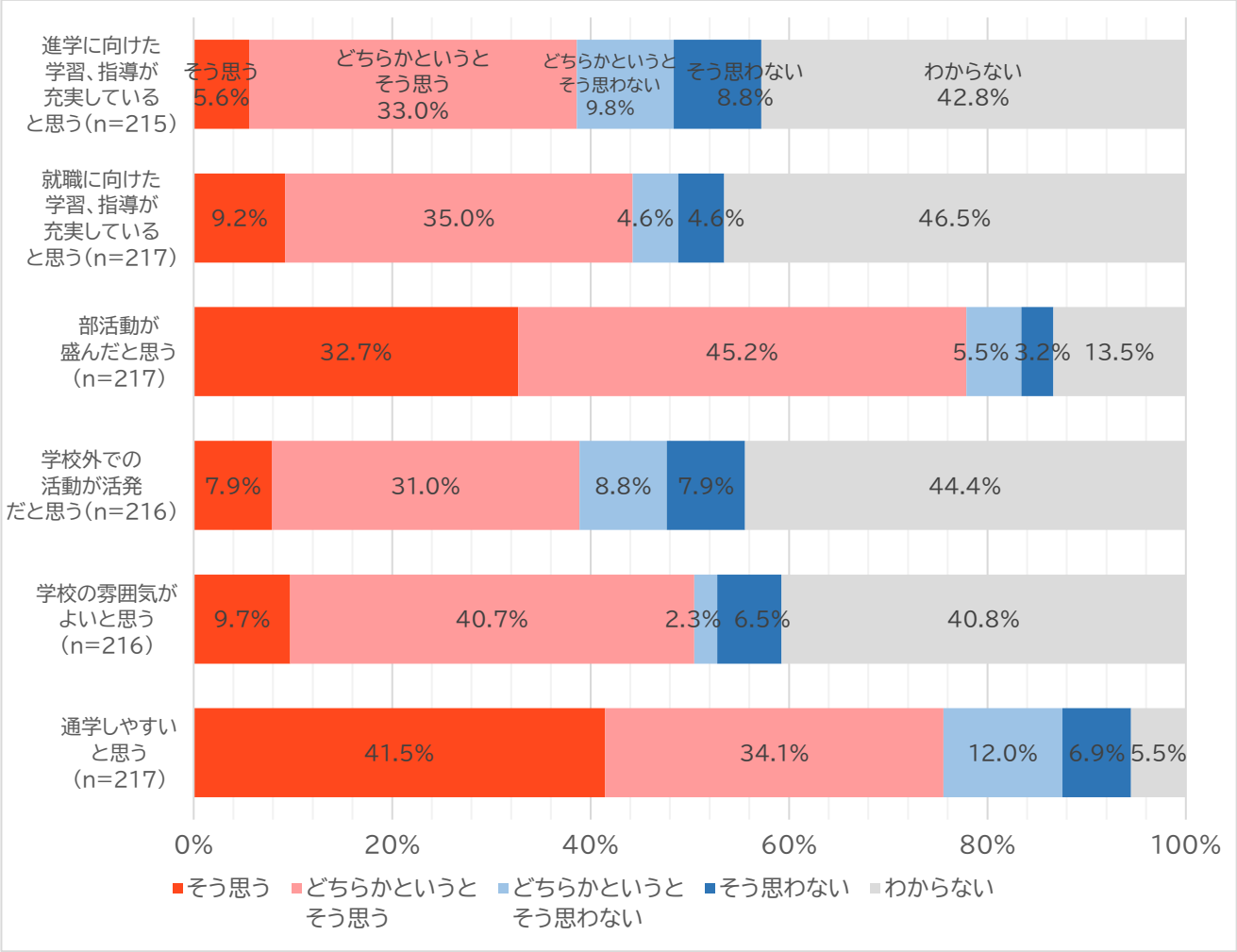
このことから、保護者にとっては通学条件や進学面、学びの内容などとともに、子ども本人の希望も想定する理由の一つとなっていることがうかがえます。

第 5 章 鹿角高校に対する認識

5-1. 鹿角高校に対する認識

設問 7

「あなたは、鹿角高等学校について、次のことを現時点でどのように感じていますか。」



※全体の回答対象者は 217 人ですが、各項目の割合は、当該項目の未回答を除いた有効回答数を分母として算出しているため、項目ごとに n が異なります。

<u>・部活動や通学面で肯定的な回答の割合が高い</u>

設問 7 では、鹿角高校に対する現時点での印象についてたずねました。

全体では、「部活動が盛んだと思う」について、「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合わせた肯定的な回答が 77.9%となっており、最も高くなっています。

また、「通学しやすいと思う」についても肯定的な回答が 75.6%となっており、鹿角高校は部活動や通学面について、保護者から比較的肯定的に受け止められていることがうかがえます。

さらに、「学校の雰囲気がよいと思う」についても、肯定的な回答が 50.4%となっており、約半数の保護者が肯定的にとらえています。

一方で、「どちらかというとそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的な回答の割合は、すべての項目で 20%未満となっています。

このことから、鹿角高校に対して明確に否定的な印象を持つ保護者は、全体としては多くないと考えられます。

・「わからない」という回答も多い

しかしながら、「進学に向けた学習・指導が充実していると思う」、「就職に向けた学習・指導が充実していると思う」、「学校外での活動が活発だと思う」、「学校の雰囲気がよいと思う」については、「わからない」が 40%を超えています。

このことから、これらの項目については、保護者が判断するための情報が十分に届いていない可能性があります。

第 6 章 自由記述の分析

6-1. 自由記述の分類方法

設問 8 の自由記述については、「特になし」等の具体的な記述がない回答を除き、31 件の回答がありました。

それぞれ記述内容を確認し、主な意見を内容ごとに分類しました。1 つの記述に複数の内容が含まれる場合は、それぞれの内容に応じて複数の分類に整理しています。

なお、個別事案や事実確認を要する内容、個人・学校・団体の特定につながる可能性がある内容、第三者の権利利益に影響を及ぼす可能性がある内容を含む 1 件は掲載していません。このため、巻末の一覧には 30 件を掲載しています。また、掲載した回答についても、意見の趣旨を損なわない範囲で、誤字・脱字の修正や表現の調整を行っているものが含まれています。

6-2. 自由記述の分類と意見の件数

設問 8

「お子様の進路について、不安に思っていることや困っていることがあればご自由にお書きください。」

（回答件数＝31 件）

分類	延べ件数
通学・交通手段・安全面	11
学校の特色・学び・情報	11
進路・学力向上	8
家庭・保護者の負担	8
学校生活・雰囲気・個別支援	7
部活動・課外活動	6
学校運営・指導体制	3
未定	1

※自由記述 31 件を内容別に分類したものであり、回答を複数分類している場合があります。また、巻末一覧には非掲載としたものについても内容を確認のうえ、分類表に含めています。

※意見には不安、期待、要望、提案、受け止めなどを含みます。

6-3. 自由記述から見える主な課題

自由記述 31 件を内容別に分類したところ、「通学・交通手段・安全面」に関する意見及び「学校の特色・学び・情報」に関する意見がそれぞれ 11 件、「進路・学力向上」及び「家庭・保護者の負担」に関する意見がそれぞれ8件みられました。なお、1 つの回答に複数の内容が含まれる場

合があるため、分類件数は延べ件数として集計しています。

・「通学・交通手段・安全面」と「学校の特色・学び・情報」に関する意見が最多

「通学・交通手段・安全面」に関しては、花輪線の運行状況、冬季や悪天候、クマ出没時等の対応、保護者による送迎負担、バス停までの距離などが不安要素として挙げられています。

自由記述では、利用できる公共交通機関が限られているとの受け止めや、列車の運休時、冬季間の通学に関する不安が示されました。

同じく最多の意見数だった「学校の特色・学び・情報」に関しては、各高校の特色や魅力が見えにくいという意見がありました。

また、保護者自身が各高校の特色を十分に把握できていないため、子どもに進学先について助言しにくいという声や、「ここで学びたい」と思える特色をより具体的に知りたいという意見がみられました。

・「進路・学力向上」と「家庭・保護者の負担」に関する意見も多い

「進路や学力向上」については、大学進学や国公立大学への進学を見据えた場合に、学習環境や進路支援について具体的にイメージしきれていないことへの不安や、同じ目標を持つ生徒が集まる環境、進学に向けた雰囲気が重要であるとの声もみられます。

「家庭・保護者の負担」に関しては、送迎、昼食、部活動に係る費用、保護者の情報対応など、時間的・経済的・生活面の負担に関する意見がみられました。

・学校生活や部活動に関する不安・要望もみられる

学校生活への適応、勉強についていけるかどうか、精神面のサポートなど、生徒一人ひとりに応じた支援を求める意見もみられました。

また、部活動については、鹿角高校の特色の一つとして受け止められている一方で、送迎や費用負担、勉強との両立に関する不安も挙げられています。

以上のことから、自由記述では、通学環境、進路支援、学びの特色、家庭・保護者の負担、学校生活への支援などについて、保護者が具体的な不安や期待を持っていることが分かりました。

これらの意見は、今後の鹿角高校魅力化ビジョン策定やワークショップにおいて、保護者の視点から検討する際の参考となる論点と考えられます。

※自由意見については、巻末資料として掲載します。ただし、個別事案や事実確認の必要な内容の意見、個人の特定につながる可能性のある意見については意見の趣旨を損なわない範囲で表現を調整し掲載するか、非掲載とさせていただいています。

第 7 章 調査結果から見える鹿角高等学校魅力化に向けた今後の検討課題

第 2 章から第 6 章までの調査結果を踏まえると、保護者は高校選択において、学校の雰囲気、進学に向けた学習や指導、通学のしやすさなどを重視していることが分かりました。

また、鹿角高校に対しては、部活動や通学のしやすさについて比較的肯定的な認識がみられる一方、進学支援、就職支援、学校外での活動、学校の雰囲気などについては「わからない」とする回答も多く、判断材料となる情報が十分に認識されていない可能性があります。

自由記述では、これらの結果に関連して、通学環境、学びの特色、進路支援、家庭負担などに関する具体的な意見がみられました。

本章では、主として選択式設問の結果を基に、自由記述の内容も参考にしながら、今後の検討課題を整理します。

7-1. 進学支援の取組の可視化

高校選択においては、「大学などへの進学に向けた学習や指導が充実している」が 51.2%で 2 番目に高く、保護者が進学支援を重視していることが分かります。

一方で、鹿角高校に対する認識では、「進学に向けた学習・指導が充実していると思う」について「わからない」が 42.8%を占めており、進学支援に関する情報が十分に伝わっていない可能性があります。

また、高校を想定している地域別にみると、大館市を想定している保護者では、「進学に有利だと思うから」が 80.7%と高く、進学面を重視する割合が高い結果でした。こうした点も踏まえ、鹿角高校魅力化に向けては、進学支援の内容や取組、進路状況等をより具体的に伝えていくことが重要と考えられます。

自由記述でも、大学進学や国公立大学進学を見据えた学習環境、進路支援の内容を具体的に知りたいという意見がみられており、設問結果で示された進学支援への関心の高さを補足するものと考えられます。

7-2. 学びの特色の共有

高校選択で重視することとしては、「学びたいことを学べる」が 39.0%で上位に位置しており、「学校の雰囲気」や「進学に向けた学習や指導」ほどではないものの、一定数の保護者が学びの内容を重視していることが分かります。

また、進学先として大館市を想定している保護者では、「学びたい学科やコースがあると思うから」が 28.1%となっており、学科やコース、学びの特色を重視する保護者が一定いることがうかがえます。

このことから、鹿角高校魅力化に向けては、普通科や産業工学科でどのような学びができるのか、地域と関わる学びや探究的な活動、卒業後の進路とのつながりなどを、より具体的に示していくことが重要です。

自由記述でも、各高校の特色や魅力、学びの内容が見えにくいという意見や、保護者自身が子どもに助言するための情報を十分に持っていないという意見がありました。

7-3. 学校生活の安心感の共有

高校選びにおいて重視することのなかで最も多く選ばれたのは「学校の雰囲気がよい」であり、58.2%の保護者が重視しています。

このことから、保護者は学力面や進路面だけでなく、子どもが安心して通える環境や、学校生活全体の雰囲気を重要な判断材料としていることが分かります。

一方で、鹿角高校に対する認識では、「学校の雰囲気がよいと思う」について肯定的な回答が 50.4%ある一方、「わからない」も 40.8%と高く、学校生活の実際の様子が十分に伝わっていない可能性があります。

このため、鹿角高校魅力化に向けては、日々の学校生活、生徒の様子、先生との関わり、相談体制、入学後の支援のあり方などについて、中学生や保護者が具体的にイメージできるようにしていくことが重要といえます。

自由記述でも、学校生活への適応や学習面への不安、精神面を含めた支援への期待などがみられており、保護者が学校生活の安心感を重視していることをうかがわせます。

7-4. 通学環境の安全確保と利便性の向上

進学先の想定理由として、全体では「通学しやすいから」が 47.6%で最も高く、鹿角市を進学先として想定している保護者についてみると、想定理由のなかでは 77.5%と突出して高くなっています。

また、鹿角高校に対する認識でも、「通学しやすいと思う」は肯定的な回答が 75.6%となっており、通学のしやすさは鹿角高校の強みの一つとして受け止められていることが分かります。加えて、鹿角市を想定している保護者では、「保護者として安心できるから」も 28.8%となっており、通学の負担や生活面での安心感が地域内進学の大きな理由になっていることがうかがえます。

特に、冬季や悪天候時の対応、公共交通機関の運行状況、通学時の安全確保などについて、保護者が安心して進学先を検討できるよう、情報提供や関係機関との連携が求められます。

自由記述でも、花輪線の運行、冬季間の通学、悪天候時の対応、送迎負担、バス停までの距離、クマ出没時の安全など、通学に関する具体的な不安がみられており、通学環境を検討する際の参考意見として受け止める必要があります。

7-5. 保護者への情報発信の充実

鹿角高校に対する認識では、「進学に向けた学習・指導」「就職に向けた学習・指導」「学校外での活動」「学校の雰囲気」について、「わからない」とする回答が 4 割を超えています。

このことから、鹿角高校の取組や特徴について、保護者が判断材料として十分な情報を得られていない可能性があります。

また、高校選択では「学校の雰囲気」「進学に向けた学習や指導」「学びたいことを学べる」といった点が重視されていることから、保護者が高校選択で重視している事項について、鹿角高校に対する認識では「わからない」が多い項目もあり、判断材料となる情報の認知に差がある可能性があります。

自由記述でも、各高校の情報が十分に分からない、保護者として子どもに助言しにくいといった意見がみられており、情報共有の充実が必要であることを補足しています。

第 8 章 本調査のまとめ

8-1. 調査結果の要点

(1)市内の中学生がいる 529世帯のうち 217 世帯の回答を得ました。回答率は 41.0%でした。

(2)保護者の 98.2%が子どもの中学卒業後の進路として「高校等への進学」を希望しています。

(3)保護者が高校選択で重視することでは「学校の雰囲気がよい」が最も多く、次いで「進学に向けた学習・指導」「学びたいことを学べる」が上位となりました。

(4)進学先として想定している高校の所在地域は、「鹿角市」が 52.4%で最も多く、次いで「大館市」が 26.9%となりました。全体として地元志向がうかがえる一方で、大館市を想定する保護者も一定数みられました。また、「まだわからない」も12.7%あり、進学先の地域を決めきれていない保護者も一定数存在していました。

(5)進学先としてその地域を想定している理由では、「通学しやすいから」と「本人が希望しているから」がほぼ同程度で最も多く、次いで「進学に有利だと思うから」が続きました。また、地域別にみると、鹿角市を想定する保護者では通学のしやすさや本人の希望が、大館市を想定する保護者では進学面での期待や本人の希望が上位となりました。

(6)保護者の鹿角高校への印象については、部活動や通学面が肯定的に評価されている一方、進学支援や学校外活動などについては、「わからない」という回答が約 4 割と多いことが分かりました。

8-2. 保護者の意向と課題

(1)保護者が高校選択において重視している点としては、進学支援、学びの特色、学校生活の安心感、通学環境などが挙げられます。

(2)自由記述では、通学環境、学びの内容、進路支援、家庭・保護者の負担などに関する具体的な意見がみられました。

(3)また、「情報が足りない」「学びの内容が見えにくい」といった意見もみられ、保護者が進路選択の判断材料として必要な情報を得やすくすることが課題であると考えられます。

8-3. 今後の方向性

(1)鹿角高校の魅力化に向けて、以下の課題に取り組む必要があるといえます。

・進学支援の可視化
・学びの特色の共有
・学校生活の安心感の共有
・通学環境の安全確保と利便性向上
・保護者への情報発信の充実

(2)今後、鹿角高等学校魅力化ビジョン検討委員会やワークショップ等を通じ、具体的な取組の方向性について検討を進めます。

資料

設問一覧

Q1. あなたのお子様が所属する中学校を教えてください。

☐ 花輪 ☐ 十和田 ☐ 尾去沢 ☐ 八幡平

Q2. あなたのお子様の学年を教えてください。

☐ 1 年生 ☐ 2年生 ☐ 3 年生

Q3. あなたは、お子様に中学卒業後どのような進路へ進んでほしいと考えていますか。

☐ 高校等への進学 →Q4 へ

☐ 就職 →Q7へ

☐ まだわからない →Q7へ

Q4. あなたは、お子様にどのような高校に進学してほしいと思いますか。(最大3つまで選んでください)

☐ 大学などへの進学に向けた学習や指導が充実している

☐ 就職に向けた学習や指導が充実している

☐ 学びたいことを学べる

☐ 部活動が充実している

☐ 学校の雰囲気がよい

☐ 先生に相談しやすい

☐ 通学しやすい

☐ 施設や設備が充実している

☐ 地域と関わる学びができる

☐ 学校外での活動が活発な

☐ 費用負担が比較的少ない

Q5. あなたは、お子様の進学先として、現時点でどの地域の高校を想定していますか。(現時点で第一志望として考えている高校等がある場所を1つだけ選んでください)

☐ 鹿角市

☐ 大館市

☐ 北秋田市

☐ 上記3市以外の県内

☐ 県外

☐ まだわからない →Q7へ

Q6. その地域の高校を想定している理由を教えてください。現時点での考えに近いものを最大3つまで選んでください。

□進学に有利だと思うから
□就職に有利だと思うから
□学びたい学科やコースがあると思うから
□部活動が充実していると思うから
□学校の雰囲気がよいと思うから
□施設や設備が充実していると思うから
□本人が希望しているから
□保護者として安心できるから
□通学しやすいから
□周囲に進学する人がいるから

Q7. あなたは、鹿角高等学校について、次のことを現時点でどのように感じていますか。

	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない	わからない
進学に向けた学習、指導が充実していると思う	□	□	□	□	□
就職に向けた学習、指導が充実していると思う	□	□	□	□	□
部活動が盛んだと思う	□	□	□	□	□
学校外での活動が活発だと思う	□	□	□	□	□
学校の雰囲気がよいと思う	□	□	□	□	□
通学しやすいと思う	□	□	□	□	□

Q8. お子様の進路について、不安に思っていることや困っていることがあれば、ご自由にお書きください。

自由記述意見（設問 8 の回答・表現等整理後） 一覧

※自由記述意見 31 件のうち、個別事案や事実確認を要する内容、個人・学校・団体の特定につながる可能性がある内容、第三者の権利利益に影響を及ぼす可能性がある内容を含む 1 件は掲載していません。このため、一覧には 30 件を掲載しています。掲載した回答についても、意見の趣旨を損なわない範囲で、誤字・脱字の修正や表現の調整を行っています。

1	どこの高校に行くにも交通の便が悪く、負担です スクールバスなど市で準備してもらえるとありがたいです
2	まだ、未定だが、今後本人の学びたい事を考えると、市外の学校に行かざるを得ない状況になる。
3	まだそこまで考えていません。
4	下の子もいるので部活の送迎などその他の負担が大きくなるのか不安。
5	花輪駅からの通学手段が大変だと思う。
6	花輪線を利用して通学しようと思っているが、昨今の天気に左右される花輪線の運行事情には、困惑している。
7	校則の運用や教職員の説明・対応について不安を感じている。生徒一人ひとりの事情や意見を踏まえ、十分な説明と丁寧な対話を行ってほしい。
8	高校生にも給食を出して欲しい。
9	今は大学進学を目指して大館地域へ進学したい意向だが、電車が止まった場合に代行バスが無いのがネック。 しかし、文武両道はどこの学校でも打ち出しているため、だったらほぼ全員が共通テストを受験し進学する大館の高校をと考える。鹿角高校が文武両道ではなくもっとインパクトのある、メリットがあれば、鹿角高校へ進学するかもしれない。
10	市内唯一の高校なので送迎はしやすいが、送迎できない場合のバス停までの徒歩は心配している。普段スクールバスを利用している生徒はいいが、そうではない場合、路線のバス停まではほどほどに距離があり熊出没時は心配した。 側にバス停の設置や、緊急時だけでも普段乗らない生徒もスクールバスでの駅やコモッセまでの登下校はできないのか？ 高校に限らず、小・中学校の登下校も心配しています。
11	自分自身も子どももまだ各高校の情報収集不足で、各学校の特色が見えていないことでしょうか…
12	鹿角市内の高校が 1 校となり選択肢が限られる中、学習面のさらなる充実を期待する。また、部活動を含め、学校として力を入れる分野や特色を明確にし、生徒が積極的に進学を希望する学校になってほしい。

13	鹿角にいても学力が上がる教育を期待します
14	鹿角市内の高校から大学等への進学を目指す場合の学習環境や進学支援について不安がある。進学実績や支援内容を分かりやすく示してほしい。
15	鹿角高校や部活動における指導の在り方について不安がある。また、進路指導を充実させ、進学先や就職先の選択肢をより幅広く示してほしい。
16	鹿角高校一つになり、勉強が苦手な子への配慮がほしい。親も子もさらに受験がストレスになった。
17	部活動への支援について、競技による偏りがないよう、幅広い部活動に配慮すべき。こうした支援の在り方も、高校選択や将来の地元定着を考える上で重要。
18	鹿角市内、市外に関わらず通学の手段が心配です。公共交通機関が限られることや、運行状況などが不安定なため。 また、親自身も各高校の特色がわからないので、子に進学についてのアドバイスができない。
19	授業内容や宿題の多さについていけるか不安。部活動と勉強の両立ができるか不安。
20	出来れば大館地区の進学校に行かせてあげたいが、通学の面で不安がある。もう少し、花輪線とリンクした他の交通手段があると嬉しい
21	精神的に弱い子なので、サポートしてもらえるようなスクールカウンセラーがいると助かります。 また、メンタルトレーニングなどができると尚よいです。
22	全部、ネットでのやりとりになると思うので、親がついていけるか不安。本児にあった高校が見つけられるといーなと、おもう。
23	大館市の高校に通わせたいし、本人もそのように希望しているが、現実的な交通手段は花輪線しかなく、その脆弱性が心配です。
24	大館市内の学校を希望していても、現状の花輪線の運行状況が悪く、通学に不安です。とくに、八幡平地区は遠距離となるので、通学手段であきらめざるを得ない状況です。
25	沢山の体験をして自分がやりたい事を見つけて欲しいと思ってますので、学校でもいろんな事を体験出来る機会があればいいなと思っています。
26	鹿角高校への通学には、実質的に保護者の送迎が必要となる場合があることを不安に感じている。 また、国公立大学への進学を希望する場合の学習環境や進学支援についても不安がある。部活動の充実に加え、進学を希望する生徒が学力を伸ばせる環境や支援体制を明確に示してほしい。 現時点では、これらの不安から鹿角高校を進学先として選びにくい。
27	冬季間の通学について。JRが止まった時の対処。

28	同じ目標を持った人が集まってほしい。 就職も、進学も、専門学校も等、一見よいように感じるが、特に進学する人にしてみれば、学校全体が進学する雰囲気やカリキュラムじゃないと戦えない。今は大学受験も色々な選択肢があり、1 年生からやるべき事が沢山ある。 鹿角高校に行って、進学に集中した環境があるのか分からないので不安。
29	入学できるかどうか心配ですが、入学できたとして勉強がついていけるか心配。 子供が部活をやりたいみたいですが、既に入っている保護者の方に話を聞くと金銭面で不安なところがある。
30	本人が希望する高校に進学してほしいが、実際には兄弟が行っている高校の雰囲気しか本人にも伝わらない。外や公共施設での高校生の振る舞いも、進学先としてはいろいろ見てます。